



じごぜんひろば

No.119 2025年(令和7年)12月1日

地御前地区自治会



10月13日(祝・月) 三共ディスプレイグリーンフィールドにて **第一回じごぜん絆スポーツフェスティバル開催**



HappyOrangeは2曲を披露

キッズHipHopクラブ

キレッキレのダンスを披露

ダンスユニット・はるゆな
HappyOrange卒業生

青い空十緑の芝生+フラダンス=トピカルリゾート
アロハ・ヌイ・ロアのみなさん

美肌の秘訣を教えてください！

清々しい若人のみなさん
ボランティアパワー炸裂

未来のJリーガー

んちゃ!

老若男女たくさんの人が参加してくれました。

地御前地区自治会
Webはこちらから



トピックス 漁民の森づくり



10月18日(土) 文化事業部が運営している「どんぐりクラブ」は今年も「漁民の森づくり」に行つて来ました。山・川・海の自然の生態系のつながりを学び、毎年植樹をしているイベントです。今年は第20回の記念大会で総勢330名の参加者があり、いろいろな催し物がありました。その中で丸太切り競争がありました。どんぐりクラブの子が1位と4位になりました。生牡蠣やお菓子詰め合わせを賞品として受け取りました。多くの参加者の中でも物怖じしない逞しさを見せてくれた子ども達のことを誇らしく感じました。

大歳神社の秋祭り

10月12日(日) 午後1時から大歳神社秋祭り祭典が執り行われました。

飯田宮司による祝詞、玉串奉奠など、祭典の次第が厳かに執り行われる中、今年はずいぶりに巫女舞が奉奏されました。「浦安の舞」を奉奏してくれたのは石川未波さん(高3)。コロナ禍以降、男性だけになっていた祭典ですが、地元女子高生の頑張りで平安の雅さ・優美さを取り戻したことはとても喜ばしいことです。巫女舞を見に来ていた女子中学生が私も巫女になりたいと興味を持っていました。未波さんの地元を想う頑張りが波紋のように青少年の皆さんに広がってゆけばいいと思います。

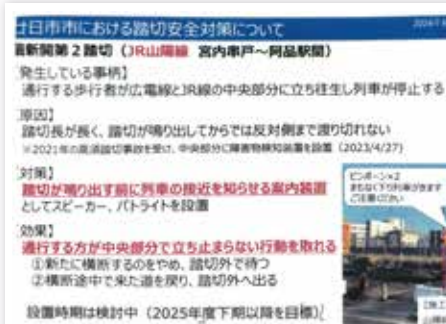


未波さんは防災士の資格も取得し進んで地域貢献に携わっている。

神輿巡行では、大歳神社を出発し、地御前市民センター前や浜之町を通り、砂島の今市稲荷神社の脇で祭典を執り行いました。帰路は要町を通って往路と同じ北之町・中之町を通り、大歳神社に戻りました。来れなくなった人がいて神輿巡行の担ぎ手が足らなくなったのですが、電話で急遽駆けつけてくれた男性たちや、たまたま参拝に来ていた扇園の男性が加わってくれ、例年に増して和やかなムードでの神輿巡行となりました。白丁・烏帽子・足袋・雪駄を初めて着て神輿を担いだ今年の秋祭りは特別な経験になったことでしょう。



開かずの踏切 改善へ



広電宮島線とJR山陽本線が共用する扇新開踏切りは、各駅から近いこともあり、遮断時間が長くなったり、すぐ次の遮断が始まることが多い。非常時の回避スペースだと思っていたエリアにもセンサーが増設されて以来、自動通報で列車がストップし、「開かずの踏切」になることが激増した。以前からこの事態を少しでも改善してほしいという要望が出されていた。改善策として、横断時間を要する方の踏切内閉じ込め防止のため、遮断機が動作し始める30秒程度前に音声で歩行者に知らせる装置を設置する。12月中旬から運用開始予定。

編集後記

★澤部さんの作文から、大谷選手も若い頃から大きな目標達成に向けていろんなジャンルの小さな目標を立てて二つ身につけていったというエピソードを思い出した。今の若い子たちには本当に感心する。★祖父が地御前村長だった瀬良さんと自治会部長会が同席し、ふと地御前村議会を想像した。今よりもずっと少ない人口で、どのように村政を運営していたのだろう。組織も常識も変わった現在ではこれも「ロストテクノロジー」と言えるのではないかな。選挙を経ることなく村議会議員になった私は…と言えるのではないかな。★10月は地域行事が目白押しだった。多くの写真提供のお蔭でとても良い紙面になったと自画自賛。でも本当に紙面を飾っているのは、みなさんの人柄思い・献身・慈愛なのだと思いがついてジーンときた。J.K.ご意見・ご感想・投稿をお待ちしています。RXE15645@nifty.ne.jpまで。

【発行】
地御前市民センター内
地御前地区自治会 広報事業部

夢につながる
ボランティア活動
地御前小学校 6年 澤部 千理

私の将来の夢は、看護師になることです。看護師は、直接人を助けることが出来る職業です。一人でも多くの人を助け、役に立つ人になりたいと思っています。

その夢に向かって、今、私ができることとして選ん

11月1日(土)に廿日市文化ホールさくらびあにて、第29回「VOICE 2025」が開催されました。今年のテーマは「わたしの思いえがく未来」。地御前小学校からは澤部千理さん(小6)が代表に選ばれて発表をし、優秀賞を受賞しました。



VOICE2025 でのようす。
原稿を暗記して発表しました。

ダンスの活動では、小学校高学年が振り付けを考え、グループのみんなに提案します。自分たちで考えたことを協力しながら仕上げ、最後にたくさんのお客様の方に喜んでもらえる活動に大きな意義を感じています。

地御前市民センターで行われているさずな食堂では、カレーライス・うどん・シチュー・ハヤシライス等を食べていただきます。さずな食



火曜日5時からのHappyOrange練習風景。
新曲チャレンジ時は低学年に教えます。

だが、ボランティア活動です。私は、二年生の頃にハッピーオレンジ隊という地域の応援団に入りました。このグループは、地域で行われるイベントでダンスを披露したり、市民センターでのさずな食堂のお手伝いをしたりしています。



10/13 じごぜん絆スポーツフェスティバルでは
オープニングアクトを飾りました。

堂には、小さい子供を連れてた親子からご高齢の方まで、幅広い年代層の人たちが集まります。私たちの仕事は、食事を提供できるように野菜を切ったり、食器を準備したり、受付をしたりすることです。普段は農作業をしている男性の方が一緒に料理を作りながら、旅行の話をしてくださったり、女性のメンバーの方が野菜を早く切るコツを教えてくださいました。そんな方々に囲まれてのボランティア活動は、新しい発見があり、有意義な時間です。

さずな食堂に来られた人々と一緒に食事をすることもあります。一人で来られたお年寄りの方が楽しそうに話してくださると、少しはお役に立てたかなと思



10/26 地御前市民センターまつり。
生活安全事業部のうどんブースをお手伝い。



土曜日や夏・冬・春休みには、地御前市民センター
2F調理室で、さずな食堂のお手伝い。

人もいるかもしれませんが。家族の方が相談しにくいかもしれません。でも、看護師としてそんな方々の思いに寄り添い、話をしながら、困っていることに気づき、少しでも多くの方を助けたいです。

まだまだ私一人の力は小さなものかもしれませんが、これからもボランティア活動に参加し、地域や誰かのためになることを続けていきたいと思っています。そして、将来は夢である看護師になり、互いに協力できる仲間を作り、今度は自分がリーダーとなって、もっと人に喜んでくれる仕事を進めていきたいと思っています。

参加者のみなさんの笑顔で、スタッフのみなさんもみんな笑顔になりました。ありがとうございました。

